

基本施策 1 1 安全安心な暮らしの確保

- ・近年の地球温暖化に伴い、気候変動が著しい状況の中、洪水や内水氾濫を防ぐため市が主体的に行う治水事業等の「公助」、自主防災組織を設立して地域で協力しあって防災活動を行う「共助」、住宅用火災警報器の設置や普通救命講習の受講など市民自らが防災力の向上に取り組む「自助」、これら全ての成果指標の向上が期待される。
- ・交通安全や防犯など市民一人ひとりの意識が向上することで安全安心な暮らしにつながっていくので、更なる普及啓発を図ることで、目標達成が図られると考える。
- ・単位施策の「治水対策の推進」について、市が取り組む「公助」として、調節池や田んぼダムの整備など大変有効な事業で、早急な整備が望まれるが、関係者の理解や協力が不可欠なので、調整に尽力をいただき一日も早い完成を期待する。
- ・単位施策の「防災・危機管理の強化」について、地域で協力しあって互いに助け合う「共助」の醸成を図るため自主防災組織の組織数を指標として掲げているが、目標まで届いていない。最近では、地域とのつながりが希薄化し、自治会加入率が低下している話を耳にするが、災害時にこそ、地域の力が発揮される時だと思うので、自治会に対し自主防災組織の必要性を訴え、地域コミュニティの強化をしていくことが重要だと思う。
- ・単位施策の「消防・救急体制の充実」について、自分の命は自分で守るという「自助」の醸成を図るため住宅用火災警報器の設置数や普通救命講習の開催数を指標に掲げており、概ね目標を達成しているが、これらの指標向上は救命率の向上に直接的な関係があることから、一人でも多くの方が実践できるよう引き続き取り組んでいただきたい。
- ・単位施策の「防犯・交通安全対策の充実」については、防犯カメラの設置数が指標としてあるが、犯罪抑止に一定の効果はあるものの、未然に犯罪防止を図れる指標がないか検討いただきたい。また、市街地の道路は狭小のため、通学路の歩道整備を進めていただきたい。
- ・単位施策の「消費生活の安定と向上」については、詐欺の手口が巧妙化している昨今、啓発講座が成果指標を達成したことは評価できる。併せてインターネットゲームの課金トラブルなど多発していることから、小中学生を対象にした啓発活動も実施する必要があると考える。

基本施策 1 2 暮らしやすい都市の創出

- ・今後少子化が進行する中で、居住誘導区域内の空洞化を防ぎ、都市機能を集積したコンパクトシティを形成することは効率の良い行政運営を実現するための有効な手段であることから引き続き施策の推進を図っていただきたい。
- ・単位施策の「都市基盤の充実」については、道路工事における再生材の活用などSDGsを意識した取組がある中、工事着手から完了まで時間を要する工事箇所

も見受けられるので、幹線市道など影響が大きい箇所に予算を集中し、早期の完了を目指すなど、限られた予算の中でメリハリある整備を期待する。

- ・単位施策の「景観形成及び歴史まちづくりの推進」については、蔵の街並みを生かした景観形成は重要な取組であるが、デジタルツールを利用した観光客の誘導方法など、整備後の活用を各課と連携して更に充実させる取組みを期待する。
- ・単位施策の「定住環境の整備促進」については、市のPRだけでは限界があると思うので、県外に支店を持つ地元企業にPRを担ってもらうなど、創意工夫されることを期待する。また、木造住宅の耐震化や狭あい道路整備、ブロック塀撤去の補助金等安全安心なまちづくりに寄与する事業があるので、更なる事業のPRに努めていただきたい。
- ・単位施策の「公共交通体系の充実」については、ふれあいバスの乗車数が向上したことは評価できるが、交通弱者といわれる学生や高齢者のニーズを適切に把握することにより、更なる乗車率の増加が見込まれることから、効率的で効果的な公共交通の運営を望む。

基本施策 13 生活環境の充実

- ・高度成長期に建設したインフラが今後、一斉に老朽化し更新時期を迎えるため日頃から点検を実施し、計画的に長寿命化を図り、災害に強い安全安心なインフラ整備を期待する。
- ・単位施策の「公園緑地の維持・整備」については、点検によりロープが張られたままの遊具が散見される。子どもの命にもかかわることなので、長時間放置せずに撤去や更新の対策を望む。
- ・単位施策の「衛生環境の充実」については、立派な新斎場が建設され、引き続き順調な運営に努めていただきたい。
- ・単位施策の「住環境の維持・向上」については、市の空き家バンク制度が先進的な取組で評価できるが、管理不全の空き家も増加傾向にあるので管理指導の徹底を望む。また、市道の改良や舗装については、地域間のバランスや交通量を考慮し計画的に整備していただきたい。